

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年2月18日(2010.2.18)

【公表番号】特表2009-521892(P2009-521892A)

【公表日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2009-022

【出願番号】特願2008-548437(P2008-548437)

【国際特許分類】

H 0 4 W 74/08 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 5 7 4

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月22日(2009.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

移動通信システムにおいて無線リソースを割り当てる方法であって、該方法は、
移動端末が、Random Access Channel (RACH) にアクセスす
るための 1 つ以上のプリアンブルに関連するグループ化情報を受信することと、
該移動端末が、該グループ化情報に従って、少なくとも 1 つのプリアンブルを選択する
ことと、
該移動端末が、該少なくとも 1 つの選択されたプリアンブルを伝送することと、
該移動端末が、該少なくとも 1 つの選択されたプリアンブルに従って割り当てられた無
線リソースを受信することと、
該移動端末が、該割り当てられた無線リソースを用いてデータを伝送することと
を包含する、方法。

【請求項 2】

前記 1 つ以上のプリアンブルは、所定の基準に従ってグループ化される、請求項 1 に記
載の方法。

【請求項 3】

前記所定の基準は、RACH を使用する目的、Channel Quality In
dicator (CQI) 情報、無線リソースの要求量、及び設定原因のうちの少なくと
も 1 つを含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 RACH を使用する目的は、初期アクセス、ハンドオーバー、同期維持、アクセス
解除、及び無線リソース要求のうちの 1 つを含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記設定原因は、緊急呼、アイドル状態からアクティブ状態への移行、及び非接続状態
からアクティブ状態への移行のうちの 1 つを含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

前記グループ化情報は、システム情報及びページングメッセージのうちの 1 つにおいて
受信される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記 1 つ以上のプリアンブルは、RACH シグネチャ及び RACH オケージョンを含む

、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記 1 つ以上のプリアンブルは、ランダムアクセスプリアンブルである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 R A C H オケージョンは、前記 R A C H シグネチャを伝送するための無線リソースである、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

前記グループ化情報は、システム情報又は R R C 接続再構成メッセージを介して受信される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記グループ化情報は、ハンドオーバーの実施中に前記 R R C 接続再構成メッセージに含まれる、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

移動通信システムにおいて無線リソースを割り当てるための方法であって、該方法は、基地局が、R a n d o m A c c e s s C h a n n e l (R A C H) にアクセスするための 1 つ以上のプリアンブルに関連するグループ化情報を伝送することと、

該基地局が、該 1 つ以上のプリアンブルの中の少なくとも 1 つのプリアンブルを受信することであって、該少なくとも 1 つのプリアンブルは、移動端末によって、該グループ化情報に従って選択される、ことと、

該基地局が、該少なくとも 1 つの選択されたプリアンブルに従って割り当てられた無線リソースを伝送することと、

該基地局が、該割り当てられた無線リソースを用いてデータを受信することとを包含する、方法。

【請求項 13】

前記グループ化情報を伝送するステップの前に、前記基地局が、所定の基準に従って、前記 1 つ以上のプリアンブルをグループ化することをさらに包含する、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記所定の基準は、R A C H を使用する目的、C h a n n e l Q u a l i t y I n d i c a t o r (C Q I) 情報、無線リソースの要求量、及び設定原因のうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記 R A C H を使用する目的は、初期アクセス、ハンドオーバー、同期維持、アクセス解除、及び無線リソース要求のうちの 1 つを含む、請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

前記設定原因は、緊急呼、アイドル状態からアクティブ状態への移行、及び非接続状態からアクティブ状態への移行のうちの 1 つを含む、請求項 14 に記載の方法。

【請求項 17】

前記グループ化情報は、システム情報及びページングメッセージのうちの 1 つにおいて受信される、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 18】

前記データを受信するステップの後に、前記基地局が、前記グループ化情報を変化及び再伝送することをさらに包含する、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 19】

前記 1 つ以上のプリアンブルの各々は R A C H シグネチャ及び R A C H オケージョンを含み、該 1 つ以上のプリアンブルはランダムアクセスプリアンブルである、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 20】

前記 R A C H オケージョンは、前記 R A C H シグネチャを伝送するための無線リソース

である、請求項 19 に記載の方法。

【請求項 21】

前記グループ化情報は、システム情報又は R R C 接続再構成メッセージを介して伝送される、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 22】

前記グループ化情報は、ハンドオーバーの実施中に前記 R R C 接続再構成メッセージに含まれる、請求項 21 に記載の方法。